

集落営農法人の設立と農地整備の一体的な取組による農地集積 (下呂市萩原町羽根地区)

地区の特徴・状況

- ・下呂市の中央部に位置する萩原町羽根地区は比較的平坦な地形で、農用地面積は49haである。
- ・主要な作物は水稻を中心に、夏秋トマト、肉用牛(繁殖)等であるが、自己完結農家が多く、担い手の高齢化や確保が懸念されている。
- ・平成28年1月地域の担い手となる(農)南ひだ羽根ファームが設立される。

取組みのポイント

- ・平成26年から法人設立に向けた地域の合意形成を得るため、農事改良組合員へ今後の営農に関するアンケート調査を経て、設立準備委員(20名)を選任した。
- ・平成27年からは設立準備委員会の検討や研修等を重ね、発起人会、設立準備協議会の決議を経て、平成28年1月(農)南ひだ羽根ファームを設立した。
- ・農地中間管理事業を活用して農地集積に取組み、平成28年度の法人への農地集積は地区の農地面積49.1haのうち34.7ha(うち新規 面積26.8ha)であり、集積率は70.7%となっている。
- ・平成30年度からは圃場の区画拡大など圃場条件整備にも取組み、平均 20a区画を0.6~1ha区画に再整備し、法人の更なる経営効率化を進める。

農地中間管理事業活用前



農地中間管理事業活用後

*** : 本地区の取組みは平成29年度東海農政局農地中間管理事業表彰を受賞**